

令和3年度 台東区立駒形中学校経営計画

台東区立駒形中学校
校長 渡邊宏之

《東京都の教育目標》

東京都教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、
○互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
○自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する

《台東区「学校教育ビジョンの基本理念」》

まちを学びのキャンパスとし、世界に飛躍し未来を創造する人を育成する

基本理念を活用して実現するための施策目標

- ① 新しい時代に対応する資質・能力を育成する
- ② グローバルな社会で活躍する人材を育成する
- ③ 多様なニーズを具現化する教育を展開する
- ④ 持続可能な社会を創造する教育を展開する

《学校の教育目標》

心身ともに健全で、高いところさしをもち、社会に貢献できる人間を育てる

【育てたい生徒像】

- こ……こころざしの高い生徒
(将来の夢や理想を抱いて、主体的に社会に貢献しようとする生徒)
- ま……学び続ける生徒
(生涯にわたり新たな知識や技能、技術を身に付けようとする生徒)
- が……我慢できる生徒
(自己の感情や行動を統制し、よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒)
- た……他を思いやる生徒
(自分の良さや可能性に気付くとともに、他者を価値ある存在として尊重する生徒)

【目指す教師像】

- 生徒と徹底的に向き合う教職員
- 組織として、課題に取り組む教職員
- 研究心をもち、専門性の高い教職員
- 誰からも信頼される教職員

【目指す学校像】

- 一人一人が居場所を感じ、輝くことのできる学校
- 健やかな心身と豊かな人間性を育む学校
- 家庭や地域、関係小学校と連携を図る学校

☆学校経営の方針

日々の授業を充実させ、自ら学び考える力と豊かな心を育む駒形中学校
～つながりと積み重ね～

創立74周年となる駒形中学校は、21世紀の担い手となる子どもたちの「確かな学力」や「豊かな心」を育むために、70年以上守られてきた伝統をしっかりと受け継ぎつつ、保護者・地域とのつながりを深めながら、日々の教育活動の改善に向けての歩みを続けてまいります。

☆今年度の取組の重点

重点目標……日々の授業を充実させ、確かな学力の向上を図るために、授業改善に努め、生徒が自ら学び考える教育を推進する

1. 学力向上

- ①日々の授業の充実のために、不断の授業改善に努め、生徒の興味・関心・自らの問いを引き出す授業を展開する。
- ②生徒一人一台のタブレット端末をはじめとするICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ③学力調査の分析をもとにした「授業改善推進プラン」の見直しや評価方法の改善、および教員間の授業観察による研修を行い、授業力向上を図り、生徒の学力向上につなげる。
- ④数学科・英語科における習熟度別少人数授業、保健体育科におけるティームティーチング指導を実践し、授業改善に結びつける。
- ⑤「学力向上推進ティーチャー」や「大学生ボランティア」等を有効活用し、学習到達度に応じた学習指導を行い、基礎学力の定着とさらなる学力向上を図る。
- ⑥朝学習、放課後及び長期休業中の補充学習を充実させるとともに、「駒中スタディ」による家庭学習などを一層充実し、基礎学力の確実な定着を図る。
- ⑦「台東区オリンピック・パラリンピック教育プラン」を踏まえ、「スポーツ・健康」「国際理解」「おもてなし」「こころざし」「ユニバーサルマナー」の5つの視点に基づき、教育活動全般を通して実践的な活動を行う。

2. 心の教育の推進・健全育成

- ①「特別の教科 道徳」を計画的に実践し、「考え、議論する」道徳教育の充実を図る。また、全教育活動を通じて、規範意識や公共心、奉仕の精神等を身に付けさせる。
- ②「道徳授業地区公開講座」への保護者及び地域関係者への参加を促し、家庭や地域社会と連携しながら社会規範意識や生命尊重の精神を育成する。
- ③「修復的対話・R Jサークル」や「アンガーマネジメント」を実践することにより、生徒同士のより望ましい人間関係を構築する。
- ④ 立志式を中核としたこころざし教育を推進するとともに、キャリア教育の観点から、職業調べや職場体験学習、上級学校訪問などを行い、望ましい就労観や職業観を培い、生涯にわたり自己実現を図ることができる能力や意欲・態度を育成する。
- ⑤ 毎日の生徒の心と体の健康管理を確実にを行い、担任、学年、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職との連携を密に行い、健全な心身の成長を促していく。

- ⑥ 台東区の「花の心プロジェクト」を受け、花や植物の栽培活動を通して、おもてなしの心、慈しみの心を育む。
- ⑦ 総合的な学習の時間や宿泊行事などの工夫改善を図り、質の高い体験活動を通して、豊かな人間性の育成を図る。
- ⑧ 食育を推進するとともに、食物アレルギーに確実に対応し、安心・安全な給食を実施する。

3. 組織的な生活指導・特別支援教育の充実

- ①全職員が生徒理解に基づく生活指導を進めるとともに、基本的な生活習慣の定着と規範意識を育成し、規律ある学校生活の確立に努める。
- ②「いじめをしない、させない、許さない」学校の確立を目指し、「いじめ防止対策委員会」を中心に、全教職員で組織的に情報の共有、指導の連携を図ることで、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。
- ③特別支援教育校内委員会を中心として、組織的な校内指導体制を確立し、全教職員が共通理解のもと、個別支援指導計画に基づいた指導を行う。
- ④外部機関と連携を図ってインターネットやSNSの安全な利用についての指導を計画的に実施するとともに、生徒会、保護者、地域、関係機関と連携して、駒中SNSルールの推進を含めた、インターネット上のトラブルの未然防止を図る。
- ⑤スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの関係機関との連携により、不登校の未然防止や不登校生徒への柔軟な対応など、生徒の一人一人に寄り添ったきめ細かな指導を行う。
- ⑥部活動において、複数顧問による指導を基本とするとともに、指導上の課題などを全教職員で共有し、生徒の充実した活動の実現に取り組む。

4. 開かれた学校づくり、地域の中の学校

- ①学校だよりや学年だより、学校ホームページの内容を充実させ、学校情報を積極的に発信し、保護者・地域の方々の本校の教育活動に対する理解と協力を推進する。
- ②年3回の学校運営協議会の開催や、学校関係者評価で示された課題に対して、その期待や願いに応え、今後の教育活動や学校経営の改善に活かす。
- ③開かれた学校を目指し、保護者が来校し、参観できる行事などを工夫して設定する。
- ④地域小学校との連携を深め、生徒会による学校紹介、体験授業や部活動体験、上野小学校との「ふれあいコンサート」などを実施する。また、「連携の日」の活用により、小学校や幼稚園の指導内容や指導方法についての理解を深め、「学びのつながり」を推進していく。
- ⑤「駒中まつり」などを通じて、生徒の学校を愛する心を育てるとともに、「地域の学校」としての役割を改めて見直しながら、より一層、地域に愛され、信頼される学校づくりを進める。
- ⑥ボランティア活動の一環として、地域行事などに積極的に参加し、地域との絆を深める。

5. その他（安全管理・学校予算・教職員組織・サービスなど）

- ①安全指導や防災教育の徹底を図り、安心・安全な校内・校外生活の確保に努める。また、校舎内外の施設設備の点検を日常的に行い、改善充実を図る。
- ②学校内外の環境美化、公共物の保全に努めるとともに、校内の掲示物の工夫改善を含み、快適な学習環境の整備を心がける。
- ③区からの配当予算の有効活用を心がけるとともに、私費会計についても適切な徴収・執行を図る。
- ④ 組織的体系に基づく「報告・連絡・相談」を常に緊密に行い、全教職員できめ細かく情報を共有する。また、指導方法の学び合いや生活指導など、常にチームとして教育課題に取り組んでいく。
- ⑤教育公務員としての自覚をもってサービスの厳正に努め、生徒や保護者・地域から信頼される教職員を目指す。